

平成22年6月8日

明治43年の第一回開催から100年、平成17年の閉幕から5年

今秋限定『ひらかた大菊人形』が復活します

京阪電車開業100周年記念イベント

京阪電気鉄道株式会社（本社：大阪市中央区、社長：上田成之助）が経営する遊園地「ひらかたパーク」（略称：ひらパー、所在地：大阪府枚方市枚方公園町）では、京阪電車開業100周年を記念して、『ひらかた大菊人形』を今秋限定で復活開催いたします。

『ひらかた大菊人形』は、明治43（1910）年、京阪電車が大阪・天満橋～京都・五条間で鉄道営業を開始した年に、当時の京阪電車 香里園駅（当時の駅名は香里）東側の丘陵地に造成された香里遊園地において開催した菊人形展を起源としています。秋の風物詩としてその人気は年々高まり、京阪沿線だけでなく日本全国から多くのお客さまにご来場いただきましたが、菊付けをする菊師や人形菊の栽培者など、制作に係わる者の高齢化と後継者不足のため、平成17年の開催をもって惜しまれながら96年の歴史に幕を下ろしました。

一方、閉幕後もお客さまの『ひらかた大菊人形』を懐かしむ声は絶えることがなく、初めて開催されてから100年目を迎える今年、京阪電車と菊人形をご愛顧いただいたことへの感謝の気持ちを込めて、『ひらかた大菊人形』を今秋限定で復活開催することといたしました。

全11場面、菊人形20体・衣裳人形7体（予定）と在りし日の規模には及びませんが、色褪せることのない美しさと匠の技を、現時点で出来得る最高の内容でお客さまにご覧いただけるよう努めてまいります。

開催概要等につきましては別紙のとおりです。



平成17年のひらかた大菊人形「義経」の一場面

(別紙)

ひらかた大菊人形 開催概要

〔期間〕平成22年10月9日(土)～11月28日(日) 毎週火曜日休園

〔時間〕平日10時～17時、土日祝10時～18時

〔場所〕イベントホール、イベントホールの一部

〔入館料〕おとな400円、こども(3歳～小学生)200円

別途入園料必要(おとな1,300円、こども700円)

〔内容〕全11場面・菊人形20体、衣裳人形7体(予定)を展示します。また、ひらかた大菊人形の歴史を振り返る資料コーナーも設置します。

ひらかた大菊人形

『ひらかた大菊人形』は、明治43(1910)年、京阪電車が大阪・天満橋～京都・五条の間で鉄道営業を開始した年に、京阪電車 香里園駅の東側の丘陵地に造成された香里遊園地において開催した菊人形展を起源としています。大正元年(第三回)から開催地を枚方に移し、太平洋戦争の影響による2年間の開催中止を除き、その伝統と技術は絶えることなく受け継がれてきました。しかしながら、菊付けをする菊師や人形菊の栽培者など、制作に係わる者の高齢化と後継者不足のため、それまでの規模と内容を維持することが困難となり、平成17年の開催を最後に止む無く閉幕いたしました。

以上